

衆議院文部科学委員会ニュース

平成 29.11.15 第 195 回国会第 1 号

11 月 15 日（水）、第 1 回の委員会が開かれました。

1 富岡委員長から就任の挨拶が行われました。

2 理事の互選

・理事の互選の結果、次のとおり当選しました。

理事 安藤裕君（自民） 理事 木原誠二君（自民） 理事 工藤彰三君（自民）
理事 鈴木淳司君（自民） 理事 橘慶一郎君（自民） 理事 川内博史君（立憲）
理事 牧義夫君（希望） 理事 浮島智子君（公明）

3 国政調査承認要求に関する件

・以下の事項について、国政調査承認要求をすることに協議決定しました。

- ① 文部科学行政の基本施策に関する事項
- ② 生涯学習に関する事項
- ③ 学校教育に関する事項
- ④ 科学技術及び学術の振興に関する事項
- ⑤ 科学技術の研究開発に関する事項
- ⑥ 文化芸術、スポーツ及び青少年に関する事項

4 文部科学行政の基本施策に関する件

・林文部科学大臣、松本内閣府副大臣、長坂内閣府大臣政務官、堀井外務大臣政務官、築国土交通大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

義家弘介君（自民）

- ・大学の設置申請に対する認可の可否を審査する大学設置・学校法人審議会（以下、「設置審」という。）において、内閣総理大臣等からの政治的な意向が審査に反映される余地はあるのか、文部科学省に伺いたい。
- ・学校法人加計学園による岡山理科大学の獣医学部設置（以下、「獣医学部の設置」という。）申請の受理に際し、その内容が国家戦略特区の規制改革プロセスで認められた構想と適合することを確認したのか、文部科学省に伺いたい。
- ・今後、岡山理科大学獣医学部において設置申請の内容に則った教育が展開されることを継続的にフォローしていく必要があると考えるが、文部科学省の見解を伺いたい。

橘慶一郎君（自民）

- ・獣医学部の設置申請に対して、本年 5 月に設置審から入学定員に見合った獣医師需要があることを示す客観的な根拠を求める旨の意見が付されているが、同年 6

月の補正申請に当たってどのような対応がなされたのか、文部科学省に伺いたい。

- ・国家戦略特区の規制改革事項として示された「先端ライフサイエンス研究」や「地域における感染症対策」について、岡山理科大学獣医学部に期待されているところを文部科学省に伺いたい。
- ・当該獣医学部においては獣医師養成とともに、既存の事業の活用も含め大学の地域貢献としての役割を果たしていくことも重要と考えるが、林大臣の見解を伺いたい。

中野洋昌君（公明）

- ・獣医学部の設置の構想が、国家戦略特区における獣医学部設置の条件である新たなニーズに対応するという点に合致することを、計画の認定プロセスのどの段階で確認したのか、内閣府に伺いたい。
- ・設置審の獣医学部の設置に係る審査の過程において指摘された事項について、適切に改善がなされていると考えているのか、文部科学省に伺いたい。
- ・獣医学部新設が文部科学省の告示により長期にわたっ

て抑制されてきた中で、国家戦略特区により52年ぶりに新設が認められたことについてどのように評価しているのか、林大臣の見解を伺いたい。

逢坂誠二君（立憲）

- ・『日本再興戦略』改訂2015』に示された獣医学部新設に係るいわゆる4条件（以下、「4条件」という。）の1つ目である「現在の提案主体による既存の獣医師養成でない構想が具体化」について、「現在の提案主体」とはどういう者を指すのか、また、どういふ事実に基づき誰が「構想が具体化」したと判断したのか、内閣府の見解を伺いたい。
- ・国家戦略特別区域法において、計画の認定の基準の1つとして「円滑かつ確実に実施されると見込まれるものであること」が示されており、区域内で行う事業には実現可能性が要求されているが、今治市において獣医学部を新設することの実現可能性について専門家からのヒアリングは行ったのか、内閣府に伺いたい。

今井雅人君（希望）

- ・設置審において、4条件を満たしているかについても審査すべきであったと考えるが、林大臣の見解を伺いたい。
- ・獣医学部の設置に係る設置認可のプロセスが適切であったことを確認するため、審査した設置審の議事録を公開すべきであると考え、林大臣の見解を伺いたい。

山井和則君（希望）

- ・国家戦略特別区域諮問会議における学校法人加計学園を事業主体とした区域計画の認定に関し、不正が確認された場合は、今後、同獣医学部新設の認可を取り消す可能性があるのか、林大臣に伺いたい。
- ・獣医学部の設置について、安倍内閣総理大臣が、友人である加計孝太郎理事長から相談等を受けていた場合には、国家戦略特別区域基本方針にある「直接の利害関係を有する議員」に該当すると考えるが、内閣府の見解を伺いたい。

平野博文君（無会）

- ・獣医学部新設を全国展開するという安倍内閣総理大臣の発言があったが、制度に問題があるならば獣医学部の新設は国家戦略特区の枠組みではなく、制度全体を改めることについて検討していくべきだと考えるが林大臣の見解を伺いたい。

- ・獣医学部の設置に当たり、既存の獣医学部の人材育成について調査を行ったのか。また、既存の獣医学部においても時代に合った新たな人材育成が行われていると考えるが林大臣の見解を伺いたい。

畑野君枝君（共産）

- ・国家戦略特区における獣医学部新設の選考時に、山本内閣大臣（当時）は、今治市の提案の方が京都府及び京都産業大学の提案と比べ、専任教員の確保の面や「地域における感染症対策」の面などから熟度が高いと判断し、決定したと答弁していた。しかし、国家戦略特区に関する議論が不十分であることや、今治市の国家戦略特区への指定を受けて申請がなされた獣医学部の設置について設置審が教員組織の不備等を指摘したことなどから、当該獣医学部の設置に係る文部科学大臣の認可を撤回すべきであると考え、林大臣の見解を伺いたい。

足立康史君（維新）

- ・獣医学部の設置に関する様々な報道がされる中において、新設に向けた支援に取り組む林大臣の決意を伺いたい。
- ・学校法人森友学園に係る補助金不正受給問題について、大阪府で独自調査した結果などを参考に、全国で補助金が適正に支給されているか総点検を実施すべきと考えるが、文部科学省及び国土交通省の見解を伺いたい。

吉川元君（社民）

- ・獣医学部の設置に関し、4条件を満たし、国際水準の大学となるとの目標を掲げられていたようであるが、設置審においては、留意事項が多数課された後、最低水準の基準は満たしているとして認可されたのが現状である。本当に国際水準に足る十分な教育環境が現時点において確保されているのか、文部科学省に伺いたい。
- ・獣医学部の設置は、「ライフサイエンスなどの獣医師が新たに対応すべき分野における具体的な需要が明らか」であること等を求めた4条件を満たしていることだが、設置審においてライフサイエンス研究分野等の社会的な人材需要の動向が不明であるとの指摘を受けたこと等を踏まえると、条件を満たしていないと考えるが、内閣府及び文部科学省の見解を伺いたい。